

きいて・めもして・こたえよう

へちまの そだ かた かんさつ 育て方と 観察

なまえ
名前

聞くめあて へちまの「世話のしかた」と、「観察で記録すること」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：手じゅん・数字・観察すること

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) へちまのたねは、いつごろまくとっていましたか。

(2) 夏の水やりは、一日に何回すると言っていましたか。

(3) 観察で記録する三つのことに、あてはまらないものはどれですか。○をつけましょう。

ア くきの長さ

イ 葉の数と大きさ

ウ 土のねだん

(4) へちまを育てるとき、たしかめてみたいことを、一つ「しつもの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

四年生の理科で、これからへちまを育てます。今日は、育て方と、観察のしかたを話します。しっかり聞いて、メモを取ってください。

まず、たねまきです。へちまのたねは、五月のはじめ、あたたかくなってからまきます。ポットに土を入れ、一つのポットに二つずつまきます。芽が出て、葉が四まいくらいになったら、花だんに植えかえます。

つぎに、水やりです。夏はよく晴れて、土がかわきやすいので、朝と夕方の二回、水をやります。くきがのびてきたら、たおれないように、ぼうやネットにまきつかせます。

観察では、三つのことに気をつけて記録します。一つ目は、くきの長さ。二つ目は、葉の数と大きさ。三つ目は、花や実のようすです。前の記録とくらべると、育ちのようすがよく分かります。

メモのれい

へちまの育て方・観察

たねまき：五月はじめ／ポットに二つづ／葉四まいで植えかえ

水やり：夏は朝・夕の二回／くきはぼう・ネットに

観察3つ：①くきの長さ②葉の数と大きさ③花・実

こたえと かいせつ

(1) 五月のはじめ（あたたかくなってから）

「五月のはじめ、あたたかくなってからまきます」と言っていました。

(2) 二回（朝と夕方）

「朝と夕方の二回、水をやります」の部分です。数字は落とさずにメモします。

(3) ウ（土のねだん）

記録するのは「くきの長さ」「葉の数と大きさ」「花や実のようす」の三つでした。ねだんは出てきません。

(4) (例) 花がさくのは、いつごろですか。／実は、どれくらい大きくなりますか。

へちまの育ちに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。